

11/17

## 穂積橋 国の文化財登録へ

11月17日(金)、国の文化審議会が辰野川にかかる穂積橋を登録記念物の遺跡部門に登録するよう答申しました。この部門では県内初、中国・四国地方で2例目、国内ではちょうど10例目となります。

この橋の名前の由来となった穂積陳重のぶしげは、宇和島藩士から日本初の法学博士となり、大正10年の宇和島市誕生にも尽力し、「民法の父」、「宇和島の慈父」と呼ばれていた人物です。

大正13年、陳重をたたえるための銅像建設計画が宇和島で進められた際、陳重は「私などのために銅像建設をお考えいただいているようですが、皆さん、そして後世の人たちにも、迷惑がかからず毎日の生活にも役に立つ『橋の名前』にしたいだけばうれしく思います」と手紙を出しました。宇和島の人たちは改めて彼の思慮深さに感銘を受け、銅像建設を中止し、昭和5年の本開橋架け替えの際に、彼の遺志をうけて「穂積橋」と改名しました。

橋に隣接し陳重の言葉が彫られた石碑のある小公園とともに、今年の春には登録記念物として正式に登録される予定です。



【穂積陳重】



11/24

宇和島の名所をアプリで発信！  
「うわじまマチアルキ」 in 城東校区編

城東中学校1年生が、明倫、三浦、番城、祝森の4地区に分かれてフィールドワークを行いました。地域の文化や史跡、自然などについて事前に図書館やインターネットで調べ、現地で公民館長などから話を聞きました。調査内容の一部は今後解説動画にまとめ、携帯アプリ「マチアルキ」を使って公開する予定です。

この取り組みは今年度で2回目です。昨年度は、宇和島城について調査し、城内5カ所で閲覧できる解説動画を作成しました。公開にかかる費用はふるさと納税で集まった寄附金を活用しています。今年度は、身近な地域の魅力を再発見することを目的とし、各公民館の協力を得て、調査対象を城東校区に移しました。生徒たちはメモを取ったり質問をしたりしながら、熱心に取材を行いました。

## ■マチアルキ

指定の場所でスマートフォンなどをかざすと、その場所の解説が表示されるアプリで、有名ゲームアプリにも採用されている「AR」という技術を使ったものです。

今回の取材内容が公開されるのは3月ごろの予定です。ぜひアプリ(「マチアルキ」無料)をインストールして、作成した解説動画をご覧ください。



## いつまでも 仲良く寄り添って 半世紀 金婚祝賀式

11/22

結婚50年を祝って、南予文化会館で開催されました。今年は昭和42年に結婚された314組が対象で、当日は123組のご夫婦が出席しました。

式典前のアトラクションでは、護法太鼓やお遊戯、フラダンスなどが披露されました。また、出席者を代表して多賀 剛 さん・恵美子 さんご夫妻（愛宕町）が記念品を受け取り、謝辞を述べました。金婚を迎えられた皆さん、これからも2人仲良く、いつまでもお元気で過ごしてください。おめでとうございます。



## 宝くじ助成で防災資機材を整備しました

11/8

（一財）自治総合センターでは、全国自治宝くじの売上金の一部を財源として、地域のコミュニティ活動の充実、強化および地域社会の健全な発展の向上を図るための助成事業を実施しています。

平成29年度は大浦2区自治会自主防災会が、防災資機材（ワンタッチテント、発電機、投光器、ブルーシート）を整備しました。今回の備品整備により、住民が安心して暮らせる地域コミュニティの推進に繋がることが期待されます。



## 栄典受章

### 【平成29年秋の叙勲】


瑞宝中綬章  
（教育研究功労）

松田 治廣（宇和島市名誉市民）


旭日双光章  
（保健衛生功労）

西上 英昭（和霊元町）


瑞宝小綬章  
（地方自治功労）

四之宮忠正（元愛媛県宇和島地方局長）


瑞宝双光章  
（教育功労）

浅野 保夫（光満）

### 【第29回危険業務従事者叙勲】


瑞宝双光章  
（警察功労）

杉本進一郎（山際）


瑞宝単光章  
（警察功労）

山口 林三（津島町山財）

### 【平成29年秋の褒章】


黄綬褒章  
（業務精励（金融業））

村尾 明弘（賀古町）

以上の方が叙勲を受章されました。皆さんの長年のご活躍とご功績に敬意を表します。（敬称略）

